

ミズナラ



写真／新城仙台山の三本ナラ
(豊岡町251番地)
芦別市の指定文化財で、推定樹齢い
ずれも442年以上のミズナラ巨樹3本。
敷地内には昭和2年建立の水神碑があ
る。

〒075-8501 北海道芦別市本町14番地 TEL0124-22-2701

プチ健診が午後からも受診できるようになりました

市立芦別病院では、予約不要、保険証不要で検査できる「プチ健診」を24年6月から開始しましたが、たくさんの方にご利用していただけるよう、25年2月より午後からも受診できるようになりました。

付き添いやお見舞いのついでに、「プチ健診」で気になる検査項目を気軽に調べてみませんか。

【受付時間】 月曜～金曜日（祝日を除く）午前9時30分～11時30分
（追加） 午後2時00分～4時00分

●検査のすすめ方



検査メニュー		料 金
① 血糖が気になる方	(血糖、ヘモグロビンA1c)	500円
② コレステロールが気になる方	(総コレステロール、中性脂肪、 HDL-コレステロール、LDL-コレステロール)	500円
③ 肝臓が気になる方	(AST、ALT、γ-GTP、AFP)	1,000円
④ おすすめセット	(①+②+③でさらにお得)	1,500円
⑤ 甲状腺が気になる方	(TSH、FT3、FT4)	2,000円
⑥ 痛風が気になる方	(尿酸)	300円
⑦ 貧血が気になる方	(赤血球数、白血球数、Ht、Hb、血小板数)	500円
⑧ おしっこ(尿)が気になる方	(尿たん白、尿糖、尿潜血)	300円

【お問い合わせ】市立芦別病院事務局医事係／電話 22-2701 内線123

○プチ健診は、健康状態を示す現在の数値をお知らせするものです。結果が基準値を外れていた場合、あるいは何らかの症状を認める場合は、自己判断せずに医療機関への受診をお勧めいたします。また、病気の早期発見のため、年1回の定期的な検査をお勧めします。

高校生ふれあい看護体験を実施しました

毎年、冬休み期間に行われる「高校生ふれあい看護体験」を今年も1月11日に実施し、芦別高等学校の2年生、5名が参加しました。手術室での手術の模擬介助や病棟で看護師の実際の仕事を見たり患者さんと直接ふれあい、とても感激した様子で看護師になりたいという気持ちを強くされたようでした。

毎年行われている看護体験に参加し、看護師を志す思いを強くして、現在看護師として働いている方や看護大学、看護学校で勉強している方が数多くいらっしゃいます。

今年の参加者は全員が看護師を目指しているとのことで、質疑応答でも沢山の質問を頂き、その真剣さを強く感じました。

これからの一年間、参加した皆さんが「看護師」という目標に向かって頑張り、何年か後には同じ看護師として一緒に働けることを願っております。



【手術室での模擬介助の様子】



市立芦別病院ホームページもご覧ください。

・なお、24年11月から、ホームページをご覧になった方の人数を把握するため、アクセスカウンターを設置しましたが、1日当たり約25人の方にご覧いただいています。

●病院ホームページ アドレス

http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/byoin_jimukyoku/ashibetsu_hospital/index.html

◎院内広報紙「ミズナラ」は、院内各所に掲示し、病院ホームページに掲載しているほか、白黒で両面印刷したものを病院1階ロビーに用意していますので、ご来院の際、ご自由にお持ち帰りください。



平成23年度決算の概要

24年9月に開催された定例市議会において、平成23年度市立芦別病院事業会計決算が認定されましたので、その概要を説明いたします。（表1参照）

23年度は、患者数の減少などが影響し、前年度に比べて、医業収益が減少した一方、費用では、患者数の減少に伴う材料費の減少のほか医業費用全体の削減に努めたものの、収益の減少を補うことができず、最終的には161,352,231円の純損失を計上しました。

入院患者数は、年間39,702人（1日平均108人）で、前年度比651人の増加、外来患者数は、年間88,372人（1日平均362人）で前年度比2,276人の減少となりました。

総収益は、決算額2,121,480,052円で前年度比19,970,314円の減収、総費用は、決算額2,282,832,283円で前年度比70,210,711円の減額となりましたが、総収支は161,352,231円の純損失となったため、23年度末における累積欠損金は3,110,499,086円となりました。

表1 平成23年度市立芦別病院事業会計の決算状況（平成22年度との比較）

区 分		平成23年度 A	平成22年度 B	増 減 A - B	備考
入 院	年延べ患者数①	39,702人	39,051人	651人	
	1日平均患者数② ①÷365又は366日	108人	107人	1人	
外 来	年延べ患者数③	88,372人	90,648人	△2,276人	
	1日平均患者数④ ③÷診療日数	362人	373人	△11人	
医 業 収 益 ⑤		1,993,329,037円	2,016,739,715円	△23,410,678円	※1
医 業 費 用 ⑥		2,183,486,885円	2,244,518,137円	△61,031,252円	
医 業 収 支 ⑦ ⑤-⑥		△190,157,848円	△227,778,422円	37,620,574円	
医 業 外 収 益 ⑧		127,960,321円	124,676,431円	3,283,890円	※2
医 業 外 費 用 ⑨		97,560,455円	108,232,819円	△10,672,364円	
医 業 外 収 支 ⑩ ⑧-⑨		30,399,866円	16,443,612円	13,956,254円	
経 常 収 支 ⑪ (⑤+⑧)-(⑥+⑨)		△159,757,982円	△211,334,810円	51,576,828円	※3
特 別 利 益 ⑫		190,694円	34,220円	156,474円	※4
特 別 損 失 ⑬		1,784,943円	292,038円	1,492,905円	
特 別 損 益 ⑭ ⑫-⑬		△1,594,249円	△257,818円	△1,336,431円	
総 収 益 ⑮ ⑤+⑧+⑫		2,121,480,052円	2,141,450,366円	△19,970,314円	※5
総 費 用 ⑯ ⑥+⑨+⑬		2,282,832,283円	2,353,042,994円	△70,210,711円	
総 収 支 ⑰ ⑮-⑯		△161,352,231円	△211,592,628円	50,240,397円	
累 積 欠 損 金 ⑱		3,110,499,086円	2,949,146,855円	161,352,231円	※6

※1 医 業 収 支：外来収益や入院収益など本来の医業活動から生じる収益【医業収益】から、給与費、材料費等の維持管理費など本来の医業活動から発生する費用【医業費用】を差し引いたもの。

※2 医 業 外 収 支：預金利息や一般会計繰入金など本来の医業活動以外の活動によって得られる収益【医業外収益】から、支払利息など本来の医業活動以外の活動によって発生する費用【医業外費用】を差し引いたもの。

※3 経 常 収 支：医業収益に医業外収益を加えた【経常収益】から、医業費用に医業外費用を加えた【経常費用】を差し引いたもの。プラスの場合は経常利益（黒字）で、マイナスの場合は経常損失（赤字）。

※4 特 別 損 益：固定資産の売却による損益や料金の時効による不納欠損など、突発的に発生する損益。

※5 総 収 支：経常収益に特別利益を加えた【総収益】から、経常費用に特別損失を加えた【総費用】を差し引いたもの。プラスの場合は純利益で、マイナスの場合は純損失。

※6 累 積 欠 損 金：今までの純損失（赤字）を積み上げた欠損金のこと。減価償却費などの現金支出を伴わない費用も含まれているため、直接、経営に必要な資金不足を表すものではありません。

市立芦別病院改革プランの進ちょく状況

市立芦別病院では、総務省が19年に示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、21年度から25年度までの5年間を計画期間とする「市立芦別病院改革プラン」を21年3月に策定して経営改善に向けた取り組みを行っているところですが、23年度決算が確定したことを受け、経営効率化に係る数値目標などの進ちょく状況を取りまとめました。(表2、表3参照)

なお、詳細につきましては、市内の有識者で構成される「市立芦別病院事業運営委員会」における取り組み状況の評価とともに、ホームページにおいて公表しています。

表2 財務に係る数値目標の達成状況

	23年度目標 ①	23年度実績 ②	達成状況 ②-①	備考	
経常収支比率	95.3%	93.2%	-2.1ポイント	×	経常費用(※)に対する経常収益(※)の割合
医業収支比率	93.4%	91.3%	-2.1ポイント	×	医業費用(※)に対する医業収益(※)の割合
職員給与費対医業収益	48.8%	51.4%	2.6ポイント	×	医業収益(※)に対する職員給与費の割合
材料費対医業収益	21.8%	18.5%	-3.3ポイント	○	医業収益(※)に対する材料費の割合
薬品費対医業収益	12.9%	11.2%	-1.7ポイント	○	医業収益(※)に対する薬品費の割合
累積欠損金比率	149.6%	156.0%	6.4ポイント	×	医業収益(※)に対する累積欠損金(※)の割合
病床利用率(合計)	83.7%	57.4%	-26.3ポイント	×	(それぞれの区分ごとに)年延べ病床数に対する年延べ入院患者数の割合
病床利用率(一般)	84.6%	54.7%	-29.9ポイント	×	
病床利用率(療養)	79.3%	72.4%	-6.9ポイント	×	

注1) 網掛けの項目は数値が大きいほど良く、それ以外の項目は数値が小さいほど良い。

2) 達成状況について、○印は目標を達成したもの、×印は目標を達成できなかったもの。

3) 備考欄の※印の付いた用語は、前頁の「平成23年度決算の概要」の記事に解説があります。

ここに掲げた数値のうち材料費対医業収益及び薬品費対医業収益以外は目標を達成できませんでした。また、病床利用率は目標を大幅に下回っていますが、これは空き病床の有効利用策の運用開始が24年度に延期になったことによります。24年度以降は市からの経営支援のための助成を受けながら、経常収支比率の黒字化に向け、更なる経営改善に努めて参ります。

表3 公立病院としての医療機能に係る数値目標の達成状況

	23年度目標 ①	23年度実績 ②	達成状況 ②-①
年延外来患者数	103,944人	88,372人	-15,572人
年延入院患者数(一般)	40,260人	32,022人	-8,238人
年延入院患者数(療養)	8,418人	7,680人	-738人

23年度は外科及び整形外科の常勤医師がそれぞれ1名ずつ減り、診療体制が縮小される中で、経営の健全化を目標に効率的な病院運営に努めてきましたが、人口の減少及び診療体制の縮小の影響はさけられず、ここに掲げた数値は、全て目標を達成することができませんでした。なお、年延外来患者数は、22年度と比べ2,276人(2.5%)減少したものの、一般と療養を合わせた年延入院患者数は22年度と比べ651人(1.7%)増加しました。